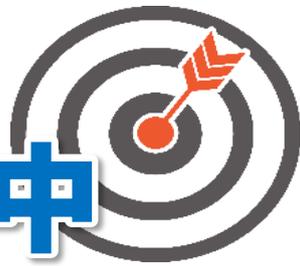


# 2026 ズバリ! 的中



# 世界史

## 同志社大学

### 共和政ローマの政治史に関する空所補充問題が ズバリ的中

#### 入試問題

2月5日実施 全学部  
大問1 設問1

#### 河合塾

大学受験科 基礎シリーズ  
世界史 演習編 第3講 1

〔I〕 次の文章を読み、設問1～3に答えなさい。(50点)

オリエント文明の影響を受けて、前2000年ごろから、クレタ島では複雑な宮殿建築が生まれたが、この文明を築いた人々の民族系統ははっきりしない。ギリシア本土では前1600年ごろから巨石城郭に囲まれた宮殿を中心とする小王国が建てられていたが、前1200年ごろには、「海の民」などの民族の移動のなかで滅亡した。

前8世紀ごろに、ギリシアでは、ポリスとよばれる都市国家が各地で形成されるようになった。ギリシア人はポリスごとに対立・抗争をくりかえし、一つの勢力にまとまることはなかったが、共通の言語と文化をもち、同一の民族としての意識を保ち、のちに異民族をバルバロイとよんで区別するようになった。

イタリア半島では、ギリシア人の影響を受けて〔a〕が多数の都市国家を築き、同一の言語や宗教をもちながら分立・競合していた。都市国家ローマは、〔a〕の影響のもとで、イタリア半島中部に住んでいた〔b〕の一派によって、ティベル（テヴェレ）河畔に建設された。ローマは〔a〕の王の支配下に置かれたが、前6世紀には王を追放して共和政となった。ローマでは貴族と平民の身分差があり、最高官職で任期1年の2名の執政官は貴族から選ばれた。非常時には、一人で全権を掌握できる独裁官が指名された。平民は全市民による民会には参加できたが、政治的な影響力は限られていた。

中小農民を主とする平民は、重装歩兵としてローマの領土拡大に貢献したために、不平等の是正を求める闘争が起こった。前5世紀はじめには元老院や執政官の決定に拒否権を行使できる平民出身の護民官と、平民だけの民会である平民会が設けられた。その後、執政官のうち一人は平民から選出することが定められた。さらに、平民会の決議が元老院の許可なしに全ローマ人の民法となることが認められ、平民と貴族は法律上では平等となった。しかし、上層市民が貴族とともに新しい支配層を形成し、彼らが引き続き政権を独占した。

第3講 地中海世界（解答は p.129～）

□ 古代ローマ

〔1〕 共和政

前1000年頃、インド・ヨーロッパ語系の古代イタリア人がイタリア半島に進出し、その一派である〔1〕人が、前8世紀中頃ティベル川河畔に都市国家ローマを建設した。ローマは、〔2〕人を通してギリシア文化の影響を受け、はじめは〔2〕人の王に支配されていたが、前6世紀末に王を追放して共和政に移行した。初期の共和政は最高立法・審問機関である（3）や最高官職である任期1年・2名のコンスル（執政官）を貴族（パトリキ）が独占していた。しかし、まもなく貴族に対して参政権を要求して、重装歩兵団を形成する平民（プレブス）の反抗が起こり、前5世紀初め（3）やコンスルの決定に拒否権を行使できる平民出身の（4）と、平民会が設置された。前5世紀半ばには、ローマ最初の成文法である（5）法が制定された。ついで前367年の（6）法で、公有地の占有面積の制限が決まれ、2名のコンスルのうち1名が平民から選ばれることとなり、さらに前287年には（7）法が成立して、平民会の決議が（3）の認可なしに国法となるにおよび、平民と貴族の法的平等が達成された。しかし、（3）が実質的な指導権をもち続け、非常時には独裁官（ディクタトル）が全権を握ったため、結果的には貴族と富裕な平民からなる新しい支配階層（8）が政治の実権を握る体制となり、ギリシアの民主政とは異なった方向に向かった。

この間ローマは周囲の都市国家を征服していき、前272年にはギリシア人の植民市タレントゥムを征服してイタリア半島をほぼ統一した。ローマは各地に軍道や植民市を建設する一方、征服された諸都市を自治市・同盟市に区別し、それぞれ異なる権利と義務を与え、彼らの団結と反抗を巧みに防ぐ、（9）を行った。ついで地中海進出をはかったローマは、〔10〕人の都市国家ティルスが建設した植民市カルタゴとの間にポエニ戦争（前264～前146）を引き起こした。第1回ポエニ戦争で、ローマはシチリア島を獲得したが、第2回ポエニ戦争ではカルタゴの将軍（11）にイタリア本土を攻撃されて危機に陥ったものの、ザマの戦いで（11）を破り第3回ポエニ戦争でカルタゴを滅ぼした。同じ頃、ローマはギリシア・マケドニアなどのヘレニズム世界にも進出し、前2世紀半ばには、地中海世界の大部分を支配するまでになった。

しかし、ローマの急速な領土の拡大はローマ社会に大きな変化を生みだしていた。地中海周辺に属州と呼ばれる広大な領土を獲得したローマでは、（3）議員や騎士（エクイテス）らが（12）と呼ばれる大土地経営を行い、奴隷労働によりブドウ・オリーブなどの商品農作物を生産させた。一方でローマ社会の中核をなした中小農民は没落し、土地を失った農民は無産市民となってローマへ流れこんだ。有力者は彼らに「（13）」を提供し、自らの支持基盤とした。前2世紀後半、（4）に選出されたグラックス兄弟は、大土地所有者

ローマは前3世紀前半にはイタリア半島全体の覇者となり、征服した諸都市との間に、それぞれ内容の異なる権利や義務を定めた同盟関係を締結し、被支配者が団結して反抗することを防いだ。また、服属した住民の一部にローマ市民権を与えて、支配下においた。

その後、ローマは、西地中海域の覇権をめぐって ( e ) が建設した植民都市カルタゴとの間で3度にわたるポエニ戦争を引き起こした。前2世紀半にはカルタゴを滅亡させ、さらに、マケドニアとギリシア諸都市を支配下におさめ、前1世紀には地中海を内海とする広大な領域を支配するようになった。

ローマは、イタリア半島以外の征服地を属州として直接支配した。属州統治の任務を負った元老院貴族や属州の徴税請負人は、赴任地での収奪によって利益を上げ、大土地所有者となった。他方、ローマ軍の中核を担っていた中小農民のなかには、長期の戦争に疲れ、農地も荒廃して没落し、無産市民となって首都ローマに流入する者もあらわれた。

前2世紀後半には、この状況を改革しようとする動きもあったが、有力者の反発で失敗した。これ以降、元老院の権威を尊重する閥族派と民衆の支持を基盤とする平民派が対立し、およそ100年にわたって内乱が続くことになった。前1世紀前半には、( d ) が閥族派の ( e ) が平民派の代表的な人物として、それぞれ私兵を率いて対立した。その間、イタリア半島の同盟諸都市がローマ市民権を要求して戦争を起し、奴隷の大規模な反乱も発生した。

こうした混乱が続くなかで、前60年に有力な3名の政治家が同盟を結び、元老院と対立する政治を行ったが、三者の協力関係は続かず、そのなかのカエサルが内乱を制して、社会の安定のための諸改革を断行した。しかし、彼は共和政信奉派によって暗殺され、再び政情は混乱した。カエサルの養子 ( f ) は、カエサルの部下 ( g ) と ( h ) と同盟を結んで閥族派をおさえた。その後、( f ) は、エジプトの王朝の女王クレオパトラと結んで ( h ) を破り、エジプトはローマの属州となった。ここに地中海は平定され、ローマの内乱は終息した。

( f ) は尊厳者の称号を与えられ、ここから帝政時代が始まった。彼は、共和政の制度を尊重し、市民のなかの第一人者を自称したが、執政官や護民官の権限をもち、軍の最高司令官でもあったので、強い権力を手中におさめていた。これより約200年間は空前の繁栄と平和が続いた。

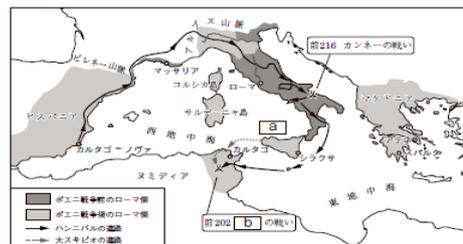
属州が繁栄するにつれて、首都およびイタリアの優位は揺るぎをはじめ、2世紀末になると各地の軍隊のなかから独自に皇帝をたてる動きがみられるようになり、3世紀には軍人出身の皇帝が次々とあらわれた。ササン朝ペルシアや ( i ) の侵入も度重なり、財政や経済も混乱して、社会不安が高まった。

この危機の時代に ( j ) 帝は、2人の正帝と2人の副帝が帝国統治を分担する体制をしき、軍事や徴税の機構改革を行った。( k ) 帝はキリスト教を公認することで帝国の統一をはかるとともに、軍隊を増強して帝国支配を安定させようとした。また、彼は、大所領で働く自由身分の小作人の移動を禁止し、下層民の身分や職業を世襲化した。さらに、彼は、東方の重要性を踏まえて、ビザンティウムに元老院を新設し、新たな都の礎を築いた。こうして、都市ローマの共和政の伝統は崩れ去ったのである。

の土地を没収して貧民にわけ、自作農を多数つくって重装歩兵軍団の再建を試みようとしたが大地主と対立して失敗した。

この後のローマは、イタリア半島内外の反乱が相つぐなかで、私兵を率いた有力な将軍たちがこれらの反乱を鎮圧しつつ互いに抗争する「内乱の1世紀」に入った。まず、傭兵制(職業軍人制)を導入して無産市民を兵士とすることをはじめた平民派(民衆派)の ( 14 ) と、( 15 ) 派のスラが激しく争った。その抗争のさなかに、イタリア半島内の同盟市がローマ市民権を求めて同盟市戦争(前91～前88)を起したが、スラが平定した。さらに剣闘士(剣奴)( 16 ) の反乱(前73～前71)などの奴隷反乱が相ついだ。前60年には( 17 ) ・クラッスス・カエサルにより第1回三頭政治がはじめられ、クラッススがバルティア遠征で降伏したのち、ガリア(ほぼ現在のフランス)を征服したカエサルが( 17 ) に勝利して独裁政治を行ったが、前44年にブルトゥスら共和派に暗殺された。

その後、カエサルの養子 ( 18 ) とカエサルの部下 ( 19 ) ・レビドゥスにより第2回三頭政治が行われたが、( 18 ) がプトレマイオス朝エジプトのクレオパトラと結んで ( 19 ) を前31年に( 20 ) の海戦で破った。( 18 ) は翌年プトレマイオス朝を滅ぼし、地中海世界を統一して、「内乱の1世紀」に終止符を打った。



ポエニ戦争  
a …第1回ポエニ戦争の結果、ローマが獲得した島  
b の戦い…ローマの大スキピオがカルタゴのハンニバルを破った戦い

設問1 ( a ) ～ ( k ) に入る最も適切な語句を次の語群から一つ選び、番号を解答欄1～Aに記入しなさい。

ただし、a, b, c, i は【語群1】から、d, e, f, g, h, j, k は【語群2】から、選びなさい。

【語群1】

- 1. アラム人
- 2. エトルリア人
- 3. ギリシア人
- 4. ゲルマン人
- 5. ソグド人
- 6. ノルマン人
- 7. ヒッタイト人
- 8. フェニキア人
- 9. ユダヤ人
- 10. ラテン人

【語群2】

- 11. アンセルムス
- 12. アントニウス
- 13. オクタウィアヌス
- 14. カラカラ
- 15. グラックス
- 16. クラッスス
- 17. コンスタンティヌス
- 18. スキピオ
- 19. スパルタクス
- 20. スラ
- 21. デイオクレティアヌス
- 22. テオドシウス
- 23. トリボニアヌス
- 24. ネルウァ
- 25. ハンニバル
- 26. ボンベイウス
- 27. マリウス
- 28. ユスティニアヌス
- 29. リウィウス
- 30. レビドゥス